

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	肝細胞癌 エピルピシン動注療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2025年9月3日	
疾患名	肝細胞癌		<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input checked="" type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	1クール期間	7日	
診療科名	消化器内科				実施回数	回	
登録医師名	兒玉 英章						
適応	肝細胞癌						

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	投与場所	ルート	投与時間	投与日								注意コメント	
								day1	—	—	—	—	—	—	—		
1	エピルピシン10mg	4	V	動注	カテ室			●	—	—	—	—	—	—	—	1) TACEのバスが入っているか確認すること 2) 薬剤部で調製 エピルピシン4Vをオムニパーク5mLで溶解し、可能な限り採取する 3) 5mLシリンジで調製 4) オムニパークの残薬はバイアルのままエピルピシンと共に払い出し 5) 全職種共通 レジメン管理表の補足の項を確認して行動すること	
	オムニパーク300注	5	mL														
2																	
3																	

備考欄

肝動脈塞栓療法(TACE)のバスが入っていることを確認すること

減量・中止基準

文献

補足

医師はエピルピシンが使用可能と判断されたら薬剤部へ調製依頼を行う。(実施可の入力があっても調製しない)  
調製依頼後、薬剤師はエピルピシンの調製を行う。  
調製終了後、薬剤師は病棟へ調製完了の電話を行い、看護師は薬剤部からエピルピシンを受け取る。  
看護師はエピルピシンを血管造影室へ持参し医師へエピルピシンを手渡す。  
抗癌剤が未使用になった場合には血管造影室で破損処理を行い、廃棄する。